

重要課題に対する主要取り組み指標「KPI」

住友化学は、持続的な成長のための重要課題に対する主要取り組み指標「KPI」を設定しました。

社会課題の解決を通じた価値創造					
重要課題	KPI	実績		目標	目標に向けた取り組み
		2024年度	2025年度		
社会課題の解決をリードする イノベティブなソリューションの提供	Sumika Sustainable Solutions®※1 認定製品・技術 の売上収益	5,543 億円	5,556 億円	2030 年度までに 1 兆 2,000 億円を目指す	事業を通じた貢献 Sumika Sustainable Solutions® (SSS)
	Sumika Sustainable Solutions®に占める イノベティブ製品群※2の売上比率	—※3	31.9%	2030 年度までに Sumika Sustainable Solutions® 認定 製品・技術の売上収益の内訳として 40% を目指す	長期的に目指す姿 (住友化学レポート 2026 P14-15)
環境保全への貢献と社会への訴求	気候変動： グループの温室効果ガス排出量 (Scope 1+2) ※4	555 万トン	529 万トン	2030 年度までに 2013 年度比 50% 削減	TCFD 提言に沿った開示
	資源循環： 製造プロセスに使用したプラスチック再生資源の量	約 11,440 トン	約 14,420 トン	2030 年度までに 20 万トン／年	炭素資源循環
	生物多様性・自然資本： ネイチャーポジティブに向けた取り組み推進状況	—※5	—※5	人と自然が共生する社会の実現	自然資本の持続可能な利用

※1 気候変動の緩和と適応、資源循環への貢献、自然資本の持続可能な利用の分野で貢献するグループの製品・技術
※2 食糧・ICT・ヘルスケア・環境の4つのテーマにおいて当社グループが重点的に取り組む課題の解決に貢献するイノベティブな製品・事業
※3 2025 年度から集計を開始
※4 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
Scope2：工場外からの電力・熱の購入等による間接的な排出
※5 現時点で国際的に定まった指標がないため、指標については検討中

価値創造のための経営基盤の強化

重要課題	KPI	実績		目標	目標に向けた取り組み
		2024年度	2025年度		
イノベーションの推進	特許資産規模※1	13,582pt	13,182pt	特許資産規模を高い水準で維持	知的財産戦略 (住友化学レポート2026 P46-47) 🔗
DXによる競争力強化	生成AI活用率※2	38%	55%	今中期中に生成AIの業務での活用率100%	DXによる競争力強化 (住友化学レポート2026 P48-49) 🔗
人材の確保と育成・活用	社員の能力・知識・スキル開発	—※3	81.5%	社員の能力・知識・スキル開発実施率100%	人材の育成・成長 🔗
		—※3	86.3%	自身の成長に関する上司・周囲のサポート状況について一般社員の肯定的受け止め80%以上	人材の育成・成長 🔗
	管理社員（課長職相当）登用者における女性比率	14.3%※4	16.3%※5	2023～2027年度の5年平均で15%以上	多様な人材の活用 🔗
	子が出生した男性社員の育児休業もしくは育児関連諸休暇の取得状況	97.5% —※3	97.9% 41.2日	取得率95%以上※6かつ 取得日数平均50日以上	多様な人材の活用 🔗

※1 特許分析ツール LexisNexis PatentSight® により、Patent Asset Index™を算出して評価。数値は暦年で集計

※2 週に1回以上、社内向け生成AIサービス「ChatSCC」を使用しているユーザーの比率

※3 2025年度から集計を開始

※4 2023～2024年度の管理社員登用者累計における女性比率

※5 2023～2025年度の管理社員登用者累計における女性比率

※6 子が1歳に到達するまでの取得状況に基づいて算出。2024年度については年度内の取得率